

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

12月8日 太平洋戦争開戦の日 二度と戦争おこさない誓いを 軍拡に進む自民党政権倒そう

12月8日、日本がアメリカとイギリスに奇襲攻撃をし、中国への侵略戦争をアジア・太平洋地域に拡大した日から82年目を迎えました。この戦争で、日本国民310万人以上、アジア諸国民2000万人以上の犠牲者を出しました。この戦争の過ちを二度度繰り返



赤紙を模したチラシを配布する母連の参加者

返さない決意を新たにしなければならぬ日です。

母親連絡会が赤紙配布

この日、島根県庁前では、島根県母親運動連絡会が戦時中の召集令状(赤紙)を模した反戦チラシを配布し、リレートークで平和を訴えました。このほか松江駅前、イオン前や乃木駅、女子高前などでも取り組まれ、約30名が参加しました。道行く人が次々にチラシを受け取っていました。

各地で日本共産党が訴え

日本共産党は、全国各地で、敵基地攻撃を認め43兆円もの軍事費拡大に突き進む岸田政権を変えよう「新たな戦前にするな」と訴えました。



たちばなふみ市議が後援会のみなさんと訴え



むらほ予定候補が尾村県議、舟木市議後援会のみなさんとともに訴え

9日には、くにびき大橋で、むらほえりこ衆院島根一区予定候補、尾村利成県議、舟木けんじ市議が「ガザ攻撃やめよ、中東に平和を」「解散総選挙で、裏金問題など噴出する自民党政権を倒し、平和で、国民本位の政治を作ろう」などと呼びかけました。

沖繩復帰50年、変わらぬ基地の重圧

関耕平島大教授が報告・沖繩と連帯する島根の会

研究を行いました。

12月9日、松江テルサで「沖繩と連帯する島根の会(高野孝治代表世話人)」が講演会を開催、関耕平・島根大学教授が「沖繩から考える『日本国憲法』と私たちの責任」と題して講演し60名が参加しました。高野代表世話人は挨拶で憲法9条をもつ日本が軍事力を強化し、戦争準備を行っていることと糾弾しました。関氏は「地理的に離島はあっても、人の命に離島があっても、人々の命に離島があってもならない」と2021年11月より、22年8月まで、琉球大学人文学部客員研究員として沖繩での離島医療に関する



こほりえり 予定候補 村上ほりえり

社会の歩みに人生を重ねて⑩

衆院島根一区 予定候補 村上ほりえり

終わりが良ければすべて良し？

寒暖の差が激しい毎日です。皆さん、いかがお過ごしですか？押しなべて、大晦日に向けての毎日、職場にあっても、ご家庭にあっても、気ぜわしい日々をお過ごしのことでしょう。毎年毎年が、同じことの繰り返しのように思われても、や

村穂 江利子

はりこの時期になると、その年に起こった出来事を感慨深く振り返ってしまうのも共通した想いではないでしょうか。特に、新しい年のカレンダーが手元に届くこの時期は、行く年くる年を実感せずにはいられません。残り少なくなつた今年のカレンダーと、新しい年を運んでくるカレンダーを前に、私は、一週間後の大晦日をどんな気持ちで迎えるだろうかと、我がことながらその日を興味深く待っているところなんです。

選挙の予定候補者になることを決意するなど、想像だにしていなかった私です。しかし、今年も折り返しの六月にそれを決意し、そこから半年余り、私には未踏だった道を歩んできました。畏れ多くもシェークスピアの戯曲タイトルやことわざに難癖つけるわけではありませんが、一日一日の積み重ね、つまりゴールまでの過程がいよいよ加減で、ハッピーエンドになるわけはありません。



虐殺許されないとスタンディング

終わりが良ければすべて良し！私流に、こう、心から言えるように、日々を大切に、活動していきたいと思えます。今年最後に一言、「皆さん、良